

## 令和7年度広島平和記念式典派遣事業記録

【第1日目：8月5日（火）】

### ◆広島へ出発

好天に恵まれ、午前8時26分発のJR烏山線に乗車し、引率の屋代先生と烏山中生徒3名が烏山駅を出発しました。途中、大金駅にて南那須中生徒4名が合流し全員集合しました。

宇都宮駅にて、出発式を行いました。屋代先生から、派遣の目的や健康安全面の注意等の説明がありました。生徒たちは緊張した面持ちでしたが、期待に胸が膨らんでいるようでした。



宇都宮駅を午前9時24分に出発し、東北新幹線と東海道新幹線を乗り継ぎました。広島駅には午後3時02分に到着しました。長距離の移動でしたが、広島の暑さに負けない元気な笑顔が見られました。

### ◆タクシーでホテルへ移動

平和記念公園に向かうため、タクシーでホテルに向かい、荷物を預けました。ホテルから記念公園までは徒歩で移動し10分ほどでしたが、記念公園に近づくにつれて、平和イベント等へ参加すると思われる人がどんどん増えていきました。

### ◆平和記念公園 1

平和記念公園には午後4時00分に到着しました。記念公園入口ですぐに現地のガイドさんと合流し、公園内を見学しました。最初に「原爆ドーム」まで移動し、説明を受けました。公園まで来るまで見ていた広島の街並みとは一変した佇まいに、胸が締め付けられるようでした。照り付ける日差しの中、生徒たちは現地のガイドさんの話を熱心に聞き、メモを取りながら「元安橋」「原爆の子の像」「平和の灯」「被爆ピアノ」「原爆死没者慰霊碑」など公園内を見学しました。

「原爆の子の像」では、南那須中学校から持参した千羽鶴を奉納しました。「原爆死没者慰霊碑」では、犠牲者の冥福を祈るため長い列ができていました。生徒

たちも並び順番で手を合わせました。





### ◆平和記念公園 2

現地のガイドさんの説明は午後5時までであったため、添乗員の荒川さんが公園内の他の場所の案内をしてくださいました。「原爆供養塔」「平和の鐘」「相生橋」で荒川さんの説明を聞きました。「原爆供養塔」では、身元不明の7万人の遺骨が納められており、現在も遺骨が発見され埋葬されることに生徒たちは驚きを隠せないようでした。



#### ◆夕食

平和記念公園を出て、路面電車で夕食会場となる「エビスキッチン」へと向かいました。こちらは、旅行業者さんの間で評判のお店だそうです。パーティー形式で次々に美味しそうな料理が運ばれてきました。生徒たちは、平和記念公園をたくさん歩いて見学したので、お腹は減っていましたが、お店のご主人の好意でそれを上回る量のお肉やパスタ、デザートが提供されました。会話にも弾みがつき、楽しい雰囲気の中、夕食を堪能しました。



#### ◆スマイルホテル広島

食事を終えてホテルに到着すると、荒川さんから翌日の行程確認及び宿泊時のルールの順守の説明があり、解散となりました。

【第2日目：8月6日（水）】

#### ◆平和記念式典参列

午前6時00分から朝食をとり、午前6時30分にホテルを出発し徒歩で平和記念公園へ向かいました。受付を行い、自治体席へ移動しました。

午前8時に式典が始まりました。原爆死没者名簿奉納、広島市議会議長の式辞、献花、黙とう・平和の鐘、広島市長の平和宣言、こども代表の平和への誓い、内閣総理大臣などによるあいさつ、ひろしま平和の歌の順番に式典は進みました。こども代表の「平和への誓い」では、「One voice.たとえ一つの声でも、学んだ事実思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはず」という力強いメッセージがありました。今回、原爆の地で様々なことを学んだ生徒たちにとって、式典での話は胸に残るものだったのではないかと思います。



#### ◆全国こども平和サミット参加

約1時間で式典は終了し、生徒たちは午前10時から平和記念公園内の広島国際会議場にて行われた「全国こども平和サミット」に参加しました。

平和サミットでは、被爆者から被爆体験や平和への思いを直接聴くことができ、当時の惨状をより理解し、命の尊さを学ぶことができました。また、中高生による平和への取組みの発表もあり、平和な世界への実現に向けて自分たちができることを考えるきっかけになりました。

全国から来ている参加者と共に、被爆の実相を学び、平和の実現を考えたことは、生徒たちにとって貴重な体験になりました。



#### ◆昼食

広島国際会議場から徒歩5分ほどの場所にある広島市文化交流会館で、buffet形式で昼食を取りました。生徒たちは、朝早くから式典に参加していたので、涼しい場所で体力を回復しつつ、色とりどりの料理に舌鼓を打ちました。外の気温は 35 度を超えていたので、デザートソフトクリームが大人気でした。



#### ◆平和記念資料館

平和記念公園と同じ敷地内にある平和記念資料館を見学しました。国籍、年齢を問わず多くの人で混雑していました。資料館の順路に入ると、原爆投下後の焼け野原と化した広島市の街並みが壁一面に映されており、まるで自分がその場に立っているような感覚に襲われました。その壮絶な景色に生徒たちは言葉を失っていました。先に進むにつれ、被爆当時の様々な写真や絵の展示で、詳細に被害の状況が判明していき、生徒たちの表情も厳しくなっていました。多くの被爆資料や被爆者の遺品を目の当たりにし、平和の尊さや命の重みについて思いを巡らせているようでした。展示の最後に、資料館の窓から見た「平和の軸線」は圧巻でした。



#### ◆スマイルホテル広島

2日目は、朝早くからの式典参加、平和サミット、資料館見学とかなり盛りだくさんな内容であったので、体調を考慮し早めにホテルに戻りました。

#### ◆夕食

ホテルから八丁堀へ徒歩で移動し、市電で夕食会場となる「広島おこのみ物語駅前ひろば」へと向かいました。様々なお好み焼きの店が立ち並び、多くのお客さんで賑わっていました。目の前の鉄板で作られていくお好み焼きに目を輝かせ、出来立て熱々のお好み焼きを美味しそうに頬張っていました。



#### ◆スマイルホテル広島

食事を終えてホテルに戻ると、荒川さんから翌日の行程確認及び宿泊時のルールの順守の説明があり、解散となりました。

【第3日目：8月7日（木）】

#### ◆帰路

午前8時40分にホテルを出発し、八丁堀へ徒歩で移動し、市電で広島駅へ向かいました。市電は8月3日から広島駅に直接乗り入れており、駅は多くの人で往来していました。生徒たちは新幹線の出発時間までお土産を買っていました。家族に頼まれた広島限定のお土産を頑張って探している生徒もいました。

広島駅から11時03分発の新幹線に乗り込みました。車内でお弁当を食べると、ほとんどの生徒が疲れて眠っていました。東京駅、宇都宮駅で乗り換えをし、宇都宮駅では、派遣事業を終えるにあたり屋代先生からあいさつがありました。大金駅に午後5時20分、烏山駅には午後5時34分に到着し、今回の派遣事業を無事に終了することができました。





#### ◆終わりに

生徒たちは、状況に応じ自分たちで考えて行動することができました。一人ひとりが目的意識をしっかり持ち、行動できる素晴らしい生徒たちでした。

平和記念式典でのこども代表が発した平和への誓いの中で、「私たちが、被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。」というメッセージに力強く頷いていた姿が印象に残っています。

広島での経験は、生徒たちにとって忘れられないものとなったと感じます。今回の派遣事業での体験を他の人へ伝えていくなど、平和について考えるきっかけとなることを期待しています。

最後に派遣事業のためにご協力いただいた関係各位に感謝を申し上げ、報告といたします。

#### 【事業記録の他、生徒たちの旅の思い出】



